

# 常磐每日新聞

定額 毎月五円 五折 二円五角  
廣告料 五折 十二字 一行 五折 五折  
日曜 祭日 休刊  
發行所 常磐毎日新聞社  
電話 六三〇番  
印刷所 常磐毎日新聞印刷部

## 釋尊劇と釋尊

眞 繼 雲 山

佛弟子としての私は佛前に讀經するたびに、佛書をひもとく毎に、三千年前の釋尊の面影を想ひ浮べて見ること頻りである。ところが常に靈鷲山にゐるまして今現に法を説き給ふ釋尊は心眼を開いてのみ拜し得るものであつて、肉眼をもつて拜し得べからざること固より千萬承知の上であるが、それにしても肉眼をもつて釋尊に近い何物かに接したいといふ心もちから、佛書をあさり、佛像に眺め入ることとは、我れ人、共通の心事であらう。

斯うした佛へのあこがれが嵩じて、釋尊の映畫、釋尊劇とさへ言へば、私は千里を遠しとせずして、往いてこれを見るのを常としてゐる。

先年も獨逸から輸入された『東亞の光』と題する釋尊傳の封切映畫を見物に出かけたが、往途の期待の大きくなりしに反して、歸路は失望のどん底に叩き落されて悄然と歸路に就いた。それは夢幻の如く神秘的に、私の胸中に描かれてゐた三千年前の風光が、淺薄は技巧の現實によつてブチこわされたからである。釋尊とは

決してあのやうなお方では無かつたであらうといふ感じがした。

先日また早稲田の某所に『釋尊劇』が上演せられたので、私は例により萬障を排して出向いて見た。成るほど成道以前の人間としての太子の苦闘は、面白く見せてくれたが、成道後の佛としての釋尊の神格は、私の想像の萬分の一をも示してくれぬものではなかつた。地上の釋尊を描き出すものは、竟にその當人以外に無いことを知つた。

佛弟子の願ひとしては、佛の如く我れも悟り、佛のあるべきであつて、その願ひの現はれとして、我れ人ともに、小惑小悲が種切れといふではない。有るにしても、それ等は何れも人間的な、相對的な範圍を出づるものではない、手を合はす乞食に五錢の金は恵み得るが一圓の金は惜しいといふ程度の心事である。その淺ましい五錢で自分の慈悲が満たされるなら、乞食がこちらに手を合はすよりもこちらから乞食に御禮を言ふたがよい。

聽衆を眼下にして講壇に立ち、小ざかしうも説法する學者高僧は現代にも多いしかし口に大慈大悲を説く

を空しうする大慈大悲といふものがない。この故に念々常懺悔して佛名を稱ふるばかりである。――了――



雨より

悪るい  
三津木貞夫

ほどなら、なに佛祖の形に還つて、まとへる美衣を脱がないか。歸途は自動車で貧乏入を押し退け、宿に着いて暖衣飽食するといふのは、小惑小悲もなき佛説の放送、蓄音器械と何ぞ撰ばん。

他のために肉を刻み、身を殺し、死にまざる忍辱に住してこそ大慈大悲といふべし、自分が満腹して殘飯があるから恵むといふのは、人間的小惑小悲と言ひ得んも、大慈大悲の佛様といふことは出来ぬ。

釋尊の一化五十年の御生涯には寸分の『自我』といふものがなかつた。釋尊御自身の名利榮達のためといふ分子がなかつた。その全生涯が衆生への廻向であつたその慈悲は絶対であり底なしであつた。この底なし底ぬけの心事を大慈大悲といひ、佛とはいふのである。

「まあの餓鬼等つて言つたら、皆んな鍋空つばに喰つちやつて、如何うすんだい。あしたはお前等喰はないで居られるんかい？」と、イキナリ尖んがつた聲でたゞきつめた。

「全く仕ようがない。」妻は怒つた。そして、翌くる日の朝だつた。雨は歌んだ。重吉は午前六時キツカリまでに仕事の現場へ詰めなればならぬのだ。

「仕ようがない。寅、要も學校休め。」重吉は言つた。「ウム。」辨當を持たず、朝飯をぬいて子供たちを學校へやる譯には行かなかつた。ついでこの間、要が空腹を堪えかねて体操の時間に卒倒した時、先生は始めカツサイしあとで怒り立て、要を叱しめた。重吉は、再び子供にその恥を親としてかかせたくはなかつた。

かゝる、とにかく辨當だけ提げて妻子の前だけ元氣に表へ出た。が、足もとがともすればふらついた。

一冊の代金で御希望通りな五冊の雜誌が自由に讀める川崎巡回文庫

（申込次第規則書進呈）  
電六三〇番

御料鹽豚  
町田三三三屋  
電話三三三番

### 優良書籍大特賣

高野山大學教授森田龍遷先生著  
◆觀音經普門品講義（四六版百七十頁）  
觀音經の意味を通俗平易に解説して「救はずにはおかぬ觀世音菩薩の大慈悲」を明顯せらる

◆一休禪師奇行笑談（四六版二百卅頁）大特價五十錢  
◆神秘と迷信の研究（四六版二百八頁）大特價五十錢  
◆呵々大笑乘酒落禪（四六版百四十頁）大特價三十錢  
◆大悟禪學繪入笑話（四六版百六十頁）大特價三十錢  
◆一休禪師と其死生觀（一冊價十錢）  
◆各宗から解脱の一路（一冊價十錢）  
（以上送料本社持、代引謝絶）  
東京市神田區今川小路二の二  
日本佛教新聞社  
振替東京一五八六〇番  
（佛書目錄無代進呈）

## 中村齒科醫院

平町鍛冶町七

### 愈よ明日

所平町第三小學校庭  
◎競技方法 タイム滞空競技  
◎賞品 一等高さ一尺の大銀カフツ及び銀賞牌、銀メダル其他十五等迄澤山進呈奮て多數御参加あらん事を！  
規定及び詳細は主催店へ御問合せを乞ふ

### 郡下模型飛行機競技大會

主催 平町 いづみや飛行機材料店  
後援 平町 常磐毎日新聞社  
東京 ダイヤモンド 模型飛行機 東京研究會

### 聖旨を奉じて

## 治療券を配附

### ▽平町各區長が ▽該當者を調査

今回長くも御下賜された醫療救濟費を以つて平町にては貧困者に治療券を交付し普遍的に施療し聖旨に副ひ奉らんと本日町役場では各區區長宛に左の如き治療券交付該當者の調査方を照會した

- 一、貧困にして公費負擔の資力なく特に免除されて居る者及び其家族
- 一、前項に準すべき貧困者にして治療の途なき者

## 高田監督を

### 迎へて講演會

オリンピックの  
女子選手活躍振  
十九日磐城高女にて

磐城高等女學校にては来る十九日午後一時より過般オリンピック大會の女子選手監督としてロスアンゼルスへ行つて來た高田通氏を迎へて講演會を催すが演題は「オリンピック大會に於ける我が國女子選手の活躍に就いて」である

## 縣下体育大會への

### 磐女校選手が決定

磐城高等女學校体育部に於ては昨日午後一時より役員會を開き来る二十三日安積高等女學校グラウンドに於て行れる縣下各女子中、其の記録を引率され出發すると

(五十米)七秒二四家ヨシ  
(百米)十四秒七加藤菊枝  
(四百リレー)五十六秒四  
家ヨシ 加藤菊枝 吉田  
フミ 赤塚チヨ子(走高  
跳)一米三十五野トク  
(走巾跳)四米五十八赤塚  
チヨ(三種)五十米七秒三  
(ボール投)二十三米(高  
跳)一米三十三石島トミ  
(ボールスロー)二十四米  
林千代子(庭球)石川キヨ  
長瀬タマエ 菅本シメ  
戸來綾子(籠球)安積ヨ

シノ 橋本テル 荒垣ト  
ヨ 草野ノブ 白土智恵  
下山田タイ 松本タイ  
吉田タイ 白土キイ 村  
上チエ子(排球)川又カネ  
長チイ 藪部マサ子 泉  
マサ 蛭田フノ 石井シ  
ゲ 佐藤タマ 渡邊キミ  
飛田トミ 佐藤キミ 渡  
邊サダヨ 田網キミ 志  
賀幸 飯田貞子 安孫子  
ノブ 柴崎ユキエ 大河  
原トミ 磯上チャウ

## 平商野球部

### 陣容を一新

校内のリーグ戦を行つたが戦績は一年甲組勝二年甲組對乙組は十一對九にて甲組勝、一年對二年は十四對四にて二年が勝尙ほ其の結果に徴し各學年より嚴選の上左の如く陣容を整へた

(投手)赤坂 渡邊 佐々木 長谷川 山崎(捕手)渡邊 森 相澤(一壘)菅原 沼田 蒲田(二壘)佐々木 阿部(三壘)森 田口(遊)宮本 森下(外野)山崎 日野 鈴木 内海 西脇 齊藤

## 四家元訓導に注ぐ

### 可憐な兒童の同情

石城郡内郷村第二小學校五年生土井アイ子及び二年生土井勝喜の兩名は本日平第二小學校長宛に左の如き文面に金一封を添へて氣の毒な四家安男先生に上げて下さいと送附して來た

## 共済委員事業の

### 周知徹底を期し

本縣主催の郡下打合せ

縣主催に依る石城郡下共済委員打合せは来る廿七日午前九會より平町第三小學校に於いて開催される事になつたが當日の協議事項は左の如くである

- 一、共済委員聯合會結成に關する件
- 一、救濟資金充實に關する件
- 一、共済委員事業の周知に關する件
- 一、共済委員取扱事項の發表

ドツチボール  
各キャプテン

既報縣下各小學校對抗ドツチボール大會は明十八日午前十時より平第一小學校グラウンドに於て行れるが出場數は高等科七、尋常科五の十二組にて各校のキャプテンは左の如くである

- 一、同B組鈴木金治 同C組内引吉 久之濱遠藤敬夫 入山佐藤廣吉
  - 一、高等科 平一A組齊藤登同B組小谷貞雄 同C組佐藤和男 内郷A組若佐三男 同B組中野醇 久之濱新妻英雄 草野新妻(男)
- 飯野工事準備 石城郡飯野村では今回縣より割當られた農村匡救土木事業費一萬二千圓の配分法に就

## 蘭市況

(17日)

△四倉市場  
(白蘭)四十八貫(最高)四十一圓八十錢(最低)三十五圓(馴)三十九圓三十錢

## 匪賊夜話

(15)

滿洲奉天駐劄  
軍曹矢野重光

勇敢なる敵  
甲兵「昨夜も敵襲があつたから今夜も油断は出来ないぞ」  
乙兵「戰場だ！敵は當然だまあ大膽にやるんだな一人二人は俺が引き受けるからよ」

## 大野のコレラ

### 眞性濃厚らし

石城郡大野村字藥王寺農佐藤久治(六二)は十三日發病の處十五日死亡コレラの疑ひあり細菌検査の結果本日眞性なる疑濃厚となり俄然大警戒を加ふる事となつた

心配するな」と言ふ今申送りをしたばかりの甲乙歩哨、時は午前一時だ、此の時突然歩哨線前約二十米の處に現れたる敵？然かも近距離にあるので彼は俯首して居る

乙兵「誰か？」  
敵は一時止まつたが一言も發しない  
乙兵「誰か？」  
敵はこんどは守も止めず段々近付くのみか「ウーッ」とうなりさへする、乙兵これは油断ならんと射撃、突撃如何なることがあつても差支ない様に準備して最後の一聲

乙兵「誰か？」  
敵は何を思つたか俄に踵を返へして一目散……  
乙兵「今はゆるすべきではない」  
轟然一發彈は確に命中せるも敵は見へない、銃聲に目を醒した下士哨長以下全員事の次第を聞き附近を見たが何の變りもない、然し血があるから命中は確かだ、昨朝下士哨長の位置より數十米の處に三十貫もある黒豚が死んで居るのを見て分つた、さても勇敢なる敵兵よ。

# 貯金詐取の犯人は 海兵團脱走者

## 警視廳巡查や大學生と偽り 結婚詐欺食逃げ窃盗の常習

昨報十五日夜平署に檢舉された郵便貯金百廿圓拂下げ犯人伊達郡長岡村新町五三生れの吉田豊七(三三)は其後同署で嚴重取調への結果昭和二年頃横須賀海兵團に在團中前後二回脱走せる程の

# 逃走間際に 悪運盡きた

## 彼れが罪狀の數々

別項吉田豊七は八月十日頃東京工科大學生と偽り海水浴客を装つて双葉郡久之濱小學校教員加藤某と知合つたのを奇貨とし同人方に十日間餘滞在逃走後四倉海水浴場で栃木縣宇都宮高工生田村某所有現金四十圓を盗み更らに大浦村國道で自轉車一臺を窃取、去月廿八日江名町南町小野矢三郎方に同じく

# 大學生を装つて泊り

込み卅日家人不在中百餘圓を窃取して逃走本月二日には石城郡小名濱町宇松ノ中宮川茂方に大學生の夏期旅行と見せ掛け泊り込んで同町沖見町馬上義助姪絹子

# 北滿洲の 水害救済

## 平町も義捐金

平町役場では北滿洲水害地の救済義捐金を各種公共團體と協力して本月廿四日迄に募集し翌日發送する事になつた

# 通信講習生の 合格者唯一人

平大工町平商業學校三年生丹野實君は去る十二日平郵便局に於て執行された仙臺通信講習所入所採用試験を受験見事合格したが志願

# 肉弾相打つ 猛烈な市街戦

## 廿日の沸騰から 紅白兩軍に分れて

既報滿洲事變一周年記念として行はれる平在郷軍人分會平市街演習は廿日午前四

### 明日のラジオ

十八日

今夜も明日も北東の風曇り小雨模様一時晴

# 今晚の部

後六、〇〇 子供の時間  
童話劇「月の沙漠」胡蝶座  
後六、三〇 講演「北海の水運」山口高商教授國吉省三  
後七、三〇 ピアノ解釋演藝講座 マキシムシヤビ  
後八、二五 ラデオ風景  
水島爾保布 小堀誠 外大  
後九、三一 (滿洲より) 長

# 明日の部

前九、二〇 祭養料理 葱と油揚げの味噌汁(主料理)煮干しの昆布巻(副料理)祭養研究所  
前九、三〇 子供の時間  
「訪滿學童使節を送る」理學博士西村眞節他  
前一〇、〇〇 日支事變追弔法要 武運長久「法華三昧之依」信州善光寺金堂本

# 放火犯三言渡

## 懲役二年に

者六十八名にて合格者は丹野君唯一人である

# 平陽女學校に 「忍込んだ怪漢」

## 捕へて見れば精神病者

平町播磨小路平陽女學校二階に昨夜十一時頃一名の怪漢忍込みウロツき廻つて居るのを寄宿生が発見直に平署に通知したので署員が急行格闘の上取押へ本署に引致取調ると胡摩澤一二一難波賢勝(三三)と云ふ精神病者と判明家人に引渡したが女學校の事として非常な大騒ぎを演じた

# 機械の 一部を

## 外して盗む

石城郡内郷村宇御殿山磐城炭礦運搬夫塚本利三郎(三〇)は本月一日高坂坑機關場より捲揚機の附屬品メタルと

堂より中繼  
前一〇、四〇 講演「北滿の大水害に就て」滿洲國協和會事務局長近藤義晴  
前一一、一〇 詠曲講座  
「詠の道しるべ」三五 實演觀世左近 解説池内信嘉  
後〇、五〇 滿洲事變記念放送(講演)柳條溝鐵道破壞狀況(關東軍司令部附少佐堤雄平 河本中尉 滿鐵鐵道修理班長三宅善平(講演)北大營戰跡)獨立守備第二大隊川島大尉(講演)南嶺の激戰)武田大尉(講演)陸軍少將板垣征四郎(君ケ代)奉天市公所音樂隊(挨拶)愛國婦人會長本野久子(筑前琵琶北滿の嵐)田中旭嶺(浪花節大和魂)桃中軒雲右衛

門(長唄肉弾散華)杵屋勝五郎外  
後六、〇〇 子供の時間  
ラデオスケッチニ教化砲臺山四勇士」宮城縣工業學校第一學年生徒有志  
後六、三〇 講演「日支事變一週年記念に當り過去を回想し將來を念ふ」第二師團留守司令部付陸軍少將木村恒夫  
後七、三〇 本庄中將歡迎の夕 日比谷公會堂より中繼  
後九、三一 滿洲より(講演)武藤關東軍司令官(講演)長春より 滿洲國執政溥儀  
後一〇、四〇 奉天より「記念講演」島本中佐  
後一〇、五九 奉天より「一點鐘」(滿洲事變勃發の時刻)

# 平職業絶つ所報告

## 回求人部

稱する時價十三圓餘の物を窃取し同村御臺境古物商宇澤新三郎方に賣却した事發覺目下平署で取調中

回求人部  
△ミン見習 十七才 尋卒 仕着小使(東京市某)  
△雜役 二十五才以下 尋卒 給料面談(四倉町某)  
△自動車修理工 二十五才以下 尋卒 日給五六十錢(平町某)  
△豆腐賣子 三十才以下 尋卒 賣上の二割(平町某)  
回求職の部  
△コック 二十六才 高卒 給料面談(相馬郡某)  
△大工職 三十七才 尋卒 給料面談(新瀉縣某)  
△女中 十七才 尋卒 給料面談(平町某)  
△給仕 十九才 高卒 給料面談(磐崎村某)

# 遺族の慰安に 軍事浪花節會

平在郷軍人分會では昨夜丸友ホールに組長會議を催し



# 幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演  
近藤紫雲畫

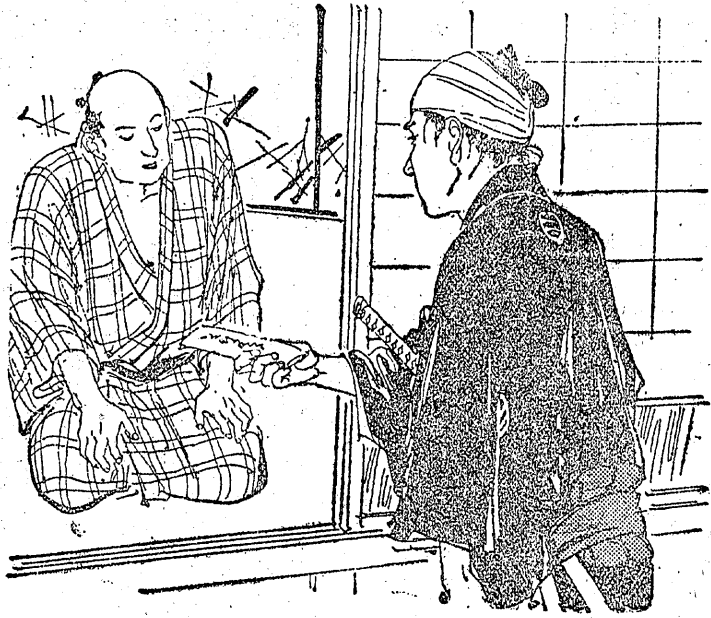
第一百五十四席 女流劍客里見靜枝

傳藏の寄居落ち

杉山五郎兵衛は長谷部傳藏の悪漢なる事を知り大層憎んだが、秋山要介は一旦隠匿た以上は今に至つて彼を里見の遺族又門人はどういふ意向かそれを探つて見ると云つた。そこで五郎兵衛が段々里見の遺族又門人の様子を探ると、里見には今年十八になる静枝といふ娘が一人あるこれより外に遺族は無い、又門人は里見が死せし以來立寄る者も無いとの事、然し静枝は父の怨らみを晴らさんものと内弟子の山路金作と此事のみ申し悲み居ると聞いて夫れを秋山要介に告げた、

要「ンさうか、それでは其の静枝といふ者が敵を討つてあらう」とは云へ長谷部は技は出来てゐるやうだが彼奴疵が癒えて後静枝の事を聞けば忍び参つて返り討にするであらう、静枝が彼と勝負の出来る程の技を備へるまで長谷部に氣の附かぬ様に致し置くであらう」  
五「それでは長谷部をどう致しますか」  
要「江戸を立退かせるであらう、依つてこれへ長谷部を呼んでくれ」

五「長まりました」と其の夜醫者の玄庵の許に居る長谷部傳藏を密に招いた  
要「倍長谷部面倒な事が出来たよ」  
傳「面倒な事と申しますと拙者の忍び居る事が町方支



配の奉行に知れましたか」  
要「イヤそんな事ではない里見の門人が五人十人黨を組み貴公の行衛を尋ねてゐる、只今も杉山と其の事に就て話してゐたが近頃見馴れぬ武家が折々當道場を窺ひ居る、これによつて察す

るに貴公が此邊に忍び居ることをうす／＼知つたものが、大勢にて取巻かれてはこれを斬り抜けることはなほ、況してまだ負傷も全癒せぬ事であれば何程貴公の技が出来てゐても大勢を相手に勝負いたすことはなるまい」  
傳「左様でございます、それでどうしたものでございませう」  
要「一時江戸を立退くが宜しい、然しその身體では遠方へ參ることはなるまい、依つて武川寄居の虎五郎と申す俠客の許へ参つてゆる／＼養生いたすがよい、そ

の虎五郎とは俺は多年睦まじく交際する氣性も至つてすぐれ今の世には珍らしい人物、それに彼等俠客は腕の出来てゐる浪人者が參るとよく世話をする、それは賭場を開帳した時に無法者の入り来るを其者として防

がせる、彼等仲間ではこれを用心棒と申す、どうだ當分虎五郎の用心棒になつては、さう致すが安全であらう」  
傳「有難き仕合せ然らば仰に従ひ虎五郎方へ參ることになりました、幸い傷も大分癒えまして三里や二里歩めばとて疲勞をいたすことにはあるまいと存じます」  
要「疲れたら駕に乗るとも馬に乗るともして參るが宜しい、只今添書を遣はします」

要介は半身さかぬから筆を執ることは出来ない、杉山五郎兵衛の代筆となりし書面を渡しそれに道中の入用として一兩添へてある、長谷部は大層喜び是から旅の支度をして翌日江戸を立ち其の夜は鴻ノ巣泊り、翌日は正午頃熊谷に入りあれから寄居の町へ入つて来て虎五郎と聞くと直に知れた、この土地での俠客、子分の百人もある  
○「へエお出なさい、何んぞ御用でございますか」  
傳「拙者は江戸より参つた者でございます、親分にこの書状をお渡し下さいませ、委細の事はこの書中にござい

五郎  
親「なんだ江戸から客が来た」と  
○「へエそれは侍でござんす、頭は白布で包んで居ります」  
親「それでは怪俄人だな、何といふ者だ」  
○「この手紙を渡してくれと云つて出しました中に何んとか書いてあるさうでござんす、出した書状、とら五郎は手に取つて見て居ります」

科人婦・科外  
院醫坂井

町田町平  
番九五五話電

目丁二町平

## 三井タクシ

番五八六話電

### 金銀高價買入

### 根本時計店

質札は(金時計鎖指輪類)有利に御相談致します  
平町田町丸新デパート

### 科外

門專  
科線光X

上田外科病院

平町南町  
電話一二九番

度量衡、計量器、吸入  
川酸素、酸素吸入器

關内藥局

電話四〇番

### 久全屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷は久の生命なり

### 吉田眼科病院

平町屋町、電話六八番